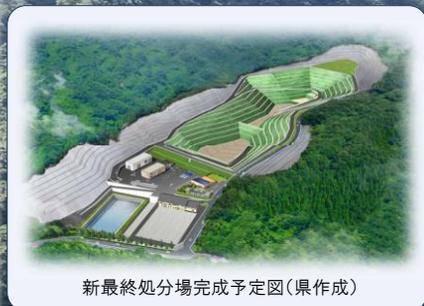


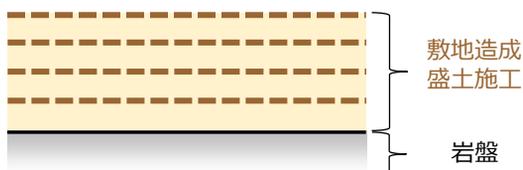
厳しい暑さが続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。今回は、埋立地の基盤部分の工事の進捗状況や、工事現場で実施している熱中症対策などについて、お知らせいたします。



1 防災調整池放流塔基盤の造成工事を実施しています



2 埋立地底部の基盤整備工事を実施しています



【お問い合わせについて】

担当：一般財団法人 茨城県環境保全事業団 新最終処分場整備日立事務所
電話：0294-33-8731 E-mail: seibi@ef-kasama.or.jp
その他：工事に関するお知らせは、茨城県環境保全事業団の
ホームページ(<https://ef-kasama.or.jp/newfacility/info>)
又は二次元コードからご確認いただけます。

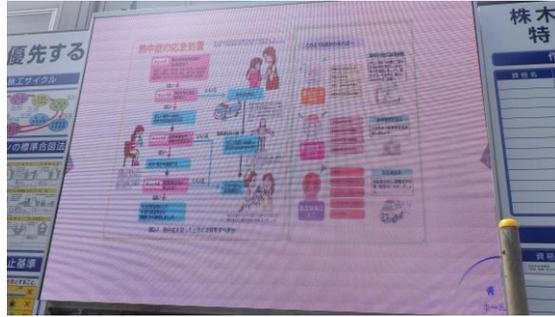


現場だより

8月に入り暑い日が続いておりますが、安全第一で現場を運営していくために、処分場の工事で実施している熱中症対策についてご紹介いたします。

熱中症の注意喚起

現場に設置している大型のデジタルサイネージの掲示板などで、暑さ指数(WBGT)を活用した熱中症の注意喚起や、応急処置の方法を周知しています。



暑さ指数(WBGT)ってなに？

暑さ指数とは、熱中症を予防することを目的にアメリカで提案された指標で、人の熱バランスに影響の大きい①気温、②湿度、③輻射熱(ふくしゃねつ)を組み合わせた指標です。



現場で実施している熱中症対策

熱中症の注意喚起に加えて、現場や休憩所で実施している熱中症対策をご紹介します。



現場での日陰用のテント



熱中症対策用のドリンク



ドリンクや氷の用の製氷機

処分場工事中の環境モニタリング

事業団では、地域住民の皆様にご安心いただくため、大気質、騒音、振動、水質などの環境モニタリングを実施し、処分場工事の影響がほとんどないことを確認しています。環境モニタリングの詳細な結果は、事業団のホームページで公開しています。



新処分場工事中の環境モニタリング結果

工事中の環境モニタリングの結果

● 水質(6月測定)

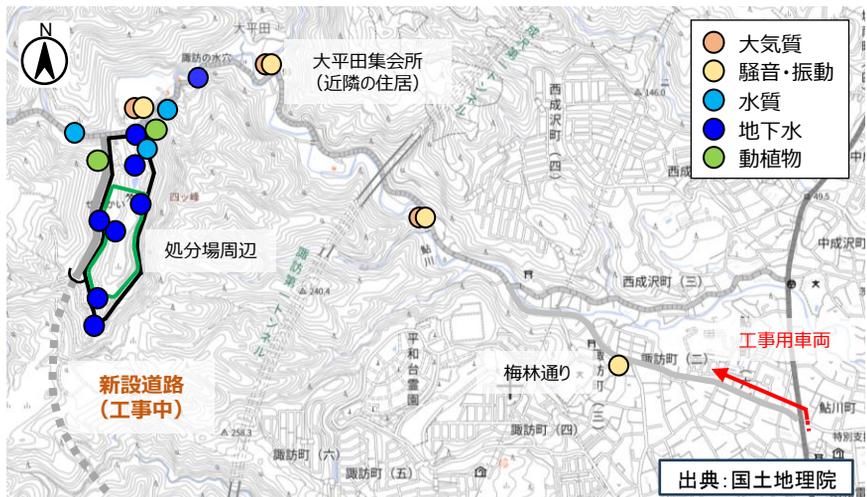
工事現場からの雨水排水及び鮎川の水質を測定したところ、工事の影響はほとんどなく、すべての測定項目で環境基準未満でした。

● 地下水(6月測定)

処分場周辺に設置しているモニタリング井戸の水質を測定したところ、工事の影響はほとんどないことを確認しました。

● 動植物(6月確認)

処分場工事開始前に移植措置を実施した、トンボ類及び植物を確認したところ、順調に成長していることが確認されました。



処分場建設工事中の環境モニタリング実施地点